

自動車のボディカバーから介護・防災関連製品も展開 株式会社ケンレーン

愛車を守るボディカバーや車内カーテンなどを手がける株式会社ケンレーン。国内の自動車メーカーに対応したボディカバーの純正用品やバイク・自転車のカバー、車内用カーテンなどオリジナル製品も数多く製造。カー用品店やホームセンターなどへ卸している。

厳しい試験をクリア 信頼性の高い製品を提供

同社の自動車のボディカバーは紫外線や酸性雨から塗装を守るほか、汚れ防止、盗難やいたずら防止、色褪せ防止の効果がある。最近は車両の盗難事件も多発している。しかし、ボディカバーを装着した車はそれだけで車泥棒の興味を失墜させることができるという。バイクカバーには放火を防ぐため、防災タイプのカバーもある。

車に乗る度に着脱するためひとりでも簡単に被せられるのも特徴だ。また、ボディカバーの裾に全周ロープ縛り式や前後ゴム絞込み式を採用し、風に飛ばされぬよう工夫が施されている。「車やバイクを大切にしたい」というユーザーのニーズに応えた製品を開発している。

また、契約している自動車メーカーの新しい車種が出る度に、工場ですべての試作を何度も重ねる。物性試験で合格してから、さらに試験を経て量産を行っている。

有志が集まり自動車ボディカバー事業を継承



「T03 アクティブバイクカバー」厚地ポリエステルOX。前部盗難防止用ロック用リング付き。裾ロープ絞込み。ロープがスッカリしまえるポケット付き



「自転車用フルバックカバー」クロス&マウンテンバイクに適合するカバー。自転車を含む設計なのでホコリが付かなくてすむのが特徴。屋内に置く場合も砂が上らないようにできている

「ピタリックスボディカバー」は高級品カバーのセダン用・ドアミラー車専用。ポリエステル100%厚地を使用。スジは全周ロープ絞込み式。ドアミラー袋付

代表取締役の尾形豊房氏は自動車のボディカバーのメーカーを経て1991年に健康食品の販売事業を始めた。自動車のボディカバーを手がけたきっかけは、2000年に古巣の自動車ボディカバーのメーカーが倒産することになり、後輩から「お客様へ迷惑を掛けたくないから何とか製品を製造販売していきたい。」という相談を受けたことだった。「それならうちでやっつけよう」と後輩を含む8名とともに事業継承を模索した。

取締役営業部長の藤田勝教氏は「取引先からの要望もあり、我々が前の会社で扱っていた自動車メーカーの純正のボディカバーの製造を行うことが可能になった。前の会社は大阪本社で東京・名古屋・九州に支社があったが、主な仕入れメーカーや協力工場が大阪にあり、集まった8名も大阪出身だったこともあって現在の場所ですべての事業を開始した。」と振り返る。

当初は生地の仕入が現金払いになるなど苦労も多かった。しかし、「取引先へ迷惑を掛けたくない」という想いに応えてくれるように、事情を知る取引先からのサポートもあり、苦難を乗り越えられたという。

さまざまな方に助けられ大手メーカーの受注を獲得

高齢化や若者の車離れなどから2000年以降は国内の自動車メーカーの販売台数は減少。人気の車種のみは売れるが、モータリゼーションで業界

に活気があった頃と比べると厳しい環境になっていた。さらに、前の会社の倒産が原因で某自動車メーカーとの取引は途切れてしまっていた。

藤田氏は「前の会社の時から人間関係はできていたが、当社との直接取引は別。難しいと実感した。ディーラーを回って相談しても、メーカーとの取引へつなげることはなかなか難しくどのディーラーからも「無理だ」と言われ続けた。」そんな中あるディーラーの社長が動いてくれてパーツディーラーを通して一部取引できるようになる。

それから約10年。2010年にその自動車メーカーの方向性が変わり、取引ができるようになる。「長年の念願が叶ったのも、本当にたくさんの方に助けられたからと思う。人とのつながりの大切さ、ありがたさを感じた。」

介護用品や防災用品など新たな分野にも進出

2003年頃から新たな分野への展開も始めた。自動車のボディカバーやバイクのカバーで培ったノウハウを元に協力工場と提携し、電動車イスのカバーを開発した。電動車イスや電動スクーターを使わない時にホコリで汚したくないという想いに応える製品だ。高齢化で介護用品のニーズの高まりもあり、車イス用のレインコートも開発。今まで簡単なビニールのポンチョなどしかなかったが、しっかりとしたポリエステルで急な雨や冬の保温としても活躍する。膝部のマジックテープとレッグパイプを結んで固定できるなど車イス専用の工夫が施されている。介護用品総合商社と提携し、カタログに掲載している。

2012年から協力工場が開発した防災用品の販売も手がけるようになる。「幾度かの震災の経験が生かされ、被災者が避難所に避難した場合は水・食料・衣類等は自治体や近隣のボランティア・自衛隊の支援により迅速に供給される。しかし、避難して落ち着いた頃にプライバシーの保護や家族単位のスペースの確保の問題が生きている。避難所で少しでも快適に過ごせるために「スーパーPE BOX」は作られた。防音性、防寒性、弾力性を備え、安心安全を確保して避難時のストレスを軽減できる。ほかにも災害時の緊急搬送や寝袋にもなる「スーパーPE 担架」などがある。我々が得意とするカバーシートの素材を使って非常時に役立てればと思う。」と藤田氏。行政の指定業者登録も行い自治体への導入を提案している。

「今後は得意分野とする縫製を武器に一般向けのカーテンなどの商品開発にも力を入れていきたい。販売代理店として新しい商材も探していく。」と基本事業を大切にしつつ新たな展開への想いも熱い。



防災用 PEBOX

避難所での居住スペースを確保し、プライバシーを保護する「スーパーPE BOX」

- 小さな話し声や音を遮断
- パネル全体に防寒・保温効果があるため床などからの直接の寒さを緩和
- 80cmの仕切りがあるので心理的にも安心感がある
- 収納時はコンパクトに組立は数分。災害時の備蓄に
- 長期保管に耐える素材を使用

株式会社ケンレーン

代表取締役社長 尾形 豊房

〒583-0033
大阪府藤井寺市小山1丁目15番15号
TEL : 072(931)0811
FAX : 072(931)0822
<http://www.kenlane.co.jp>

【事業概要】

自動車ボディカバー・バイクカバー・自動車用室内カーテン・機械カバー・介護用品・防災関連製品の製造販売

